

平成14年度公共事業継続箇所評価調書					評価結果確定日	平成14年10月31日	
					再評価実施(予定)年月	平成16年	
事業コード	U330801	-	3	区分	(補助)・県単	部局名	建設交通部
事業名	国道道路改築工事				課室名	道路建設課 国道班(2494)	
路線名等	国道107号				課長名	稲野 茂	
箇所名	石沢バイパス	所在地	本荘市石沢地内		担当者	副主幹(兼)班長 伊藤 茂	
総合計画	政策コード	U	政策名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備			
	施策コード	3	施策名	地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備			
	目標コード	2	施策目標名	県管理国道の整備推進			

事業の内容

事業目的	石沢バイパスは、幅員の狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長4.1kmの2車線道路である。						
事業概要	国道改築工事 延長L=4.1km, 幅員W=6.5(12.0)m トンネル3箇所 橋1箇所		総事業費(百万円)	事業期間		進捗率(%)	
		当初	4,078	H7	~	H13	
		計画	6,200	H7	~	H19	74
		現在	5,500	H7	~	H19	91
		(-)/	+ 34.9 %	進捗率比 /		123.0 %	
用買着手	H8 (予定)	本工事着工	H9 (予定)				

事業箇所の評価

ア 必要性の観点からの評価		
一 事業の進捗状況		計画より遅れている場合の主な理由
<input checked="" type="checkbox"/> a 計画より進捗している	0点	
<input type="checkbox"/> b 概ね計画どおり進捗している(90%以上100%未満)	1点	
<input type="checkbox"/> c 計画より遅れている(80%以上90%未満)	2点	
<input type="checkbox"/> d 計画より大幅に遅れている(80%未満)	3点	
二 事業を巡る社会経済情勢の変化を踏まえた需要の変化		需要が変化した要因
<input type="checkbox"/> a 需要は増大している	0点	
<input checked="" type="checkbox"/> b 需要に特に変化はない	1点	
<input type="checkbox"/> c 需要は低下している	2点	
<input type="checkbox"/> d 需要は大幅に低下している	3点	
三 今後の事業進捗の見込み		課題の内容及び左記判断理由
<input checked="" type="checkbox"/> a 課題無し又は課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる	0点	
<input type="checkbox"/> b 課題はほぼ解決済みであり、事業の進捗に大きな影響はない	1点	
<input type="checkbox"/> c 将来的な課題はあるが、当面の事業の進捗に影響はない	2点	
<input type="checkbox"/> d 課題解決の見込みが立たない、又は事業が停滞している	3点	
イ 効率性の観点からの評価		
一 把握し得る直近の費用便益費(算定していない場合は推計値)		実数及び採択基準との関係(推計値の場合の判断根拠)
<input checked="" type="checkbox"/> a 国庫補助採択基準以上	0点	B/C=2.0(H14)>国庫補助採択基準 1.5
<input type="checkbox"/> b 1.0以上国庫補助採択基準未満	1点	
<input type="checkbox"/> c 1.0未満	2点	
二 当初計画時と比べた事業費の増減率		事業費が増大した主な要因
<input type="checkbox"/> a 減少又は10%未満の増加	0点	・盛土区間における軟弱地盤対策工などの技術的要因と、物価の上昇などの経年的要因により増加している。
<input type="checkbox"/> b 10%以上30%未満の増加	1点	
<input checked="" type="checkbox"/> c 30%以上50%未満の増加	2点	
<input type="checkbox"/> d 50%以上の増加	3点	
三 残工事のコスト縮減の可能性		左記判断理由
<input checked="" type="checkbox"/> a コスト縮減のための取り組みに着手している	0点	・盛土材の他工区からの流用によりコスト縮減を図っている。 ・法面工への新工法の採用によりコスト縮減を図っている。
<input type="checkbox"/> b コスト縮減を検討しており、一定の縮減の可能性はある	1点	
<input type="checkbox"/> c コスト縮減を検討しているが、縮減の見込みが立たない	2点	
<input type="checkbox"/> d コスト縮減を検討していない	3点	

評価結果 (合計点数 3点)

<input checked="" type="checkbox"/> A(事業を継続する上で特に問題はない)	<input type="checkbox"/> B(事業を継続する上でやや問題がある)	<input type="checkbox"/> C(事業を継続する上で問題が大きい)
---	--	---

評価結果を踏まえた対応方針

対応方針	評価結果を踏まえた左記対応方針の決定理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続	当該事業に対する需要に変化はなく、今後の事業の進捗を図る上で課題もないことから、計画どおりに平成19年度の完成供用に向けて取り組む。
<input type="checkbox"/> 中止	